ありんこルーム　児童発達支援

（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス　ありんこルーム			
○保護者評価実施期間	R8年　1月　13日　～　R8年　1月　30日			
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	16	（回答者数）	16
○従業者評価実施期間	R8年　1月　13日　～　R8年　1月　30日			
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	7	（回答者数）	7
○事業者向け自己評価表作成日	R8年　3月　20日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	運動あそびを通して、身体を動かし発散することで〝楽しみの中からの学び〟へと繋げていく。	協調性への育み、感情のコントロールの面に関しては、都度その子どもに合った対応をマンツーマンで行う。	一人ひとりの子どもの特性理解を行い、その子どもに応じた内容を提供していく。
2	近くに広い私有地、神社があり活動が幅広く行えていること。	同世代の職員が多く、子ども達に対する情報共有や意見などを話し合える場があり、同じ方向性をもって支援できていること。	ケース会議などを行い、一人ひとりに合った支援をより一層深められるよう職員のレベルアップをしていく。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	建物の構造上、動線が作りづらい。 (手洗い場が一カ所な上に、奥にあるため)	構造上、変化させることが難しいため、動線を分かりやすく環境の設定に工夫していく。	・パーテーションを上手く活用しながら環境設定に努める ・個別スケジュールや手順書等の活用で、その子どもの理解をすすめられよう配慮する。
2	利用人数や特性の多い児童が多い中で、手厚い支援が行われる職員が不足していること。	備品が多く管理や掃除が行き届いていなくて、衛生面に不安があること。	役割分担を細分化して、空き時間を上手く利用しながら、環境面、衛生面を強化していく。
3			

（別紙４）

公表　保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス　ありんこルーム

公表日　R８年　4月　2日

利用児童数　１６名　　回収数　100.00%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	14					
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	13	1				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	13	1			体を動かすスペースと集中して課題に取り組むスペースが分けられていて良いと思いました。	現行の環境設定を維持しつつ、子どもの状況に応じた環境作りの工夫をしていきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	14					
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	14				特性や苦手を捉えて下さっていると感じます。	今後も、専門性の向上と情報共有を図り支援の充実に努めていきます。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか 。	14					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	14				モニタリング等で話し合った内容が適切に組み込まれているように思います。	引き続き、子どもの状況や変化を把握し情報共有をおこないながら、お子様の支援つなげていきます。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援 」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	14					
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	14					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	14				毎回、色々なプログラムをしてもらい子どもも楽しんで通えてます。	楽しんで来てもらい嬉しく思います。 今後も子ども達が楽しみながら学び、成長ができる活動内容を提供していきます。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	10	4				
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	14					
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	14					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	12	2			他利用児童の親御さんとの交流が持てて良かったです。	今後も安心して交流が持てる場の提供などを行っていけたらと思います。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	14				普段、なかなか会うことはできませんがノートを通じたりして共有できています。	今後も連絡帳で丁寧で分かりやすい記録を心がけます。必要に応じて、面談や電話などでの対応もできますのでご相談ください。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	14					
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	14					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	14			1	お祭り等で保護者や兄弟の交流があるので良いと思います。 保護者会については私が無知なためよく分かりません。すみません。	保護者会はまだ再開できていません。 事業所のイベントとしては交流の場がありますので、今後もぜひ参加して頂けたらと思います。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	14					

	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	14				直接、電話やメール、ノート等、やりとりしやすい印象があります。	ありがとうございます。何かご相談事などありましたら、いつでもご連絡ください。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	11	1				
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	12					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	10	2				
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	11			1		
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか 。	12					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	12					
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか 。	12				行き渋りのある状況に柔軟に対応して下さり、楽しく通っていけるようになりました。たくさん成長できていることに感謝です。ありがとうございました。	温かいお言葉をいただきありがとうございます。これからも安心できる環境作りに努めてまいりますので今後ともよろしくお願いいたします。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	12				ありんこの日は通園がスムーズです。 兄たちも行きたがっています。	嬉しいお言葉ありがとうございます。 これからも安心して楽しく通える場所であるよう努めてまいります。 今後ともよろしくお願いいたします。
	29	事業所の支援に満足していますか。	12					

（別紙５）

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス　ありんこルーム

公表日　R8年　4月　2日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		・パーテーションやカーテン等使いスペースの使い方に工夫を行えている。 ・カーテンや仕切り使ってその場に合った空間を作っている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	1	動きのある子どもが多く、マットがずれることも多いので危ない時がある。	来年度までにマットの張り替えを検討中。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	1	清潔面でなかなか掃除が行き届いていない。	朝から毎日５分程度掃除の時間を設ける。 (５S活動)
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか 。	7			
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7		振り返りは日々行われていて情報共有ができていると思う。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	5	第三者評価は行っていない。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		外部研修を受講する機会はあるが、参加者が限られた職員のため、法人内研修を充実させる必要がある。	外部から講師を呼んでいたが、都合により休止中であった。今年度から研修を再開予定。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか 。	7			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	1	子どものその時々に合わせた支援についなりがちである。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7		インフォーマルなアセスメントが中心であるために会議などで方針のすり合わせなどはしっかり行っている。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		週ごとにメインとなる活動プログラムを変更し子どもの特性に応じた対応を行っている。	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		長期休みの際の記録管理が滞ってしまうため課題である。	長期休みの時は、記録を書くのが難しいので、隙間時間に書くかノートに取るか、良い方法を検討中。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7			
	28	（28～30は、センターのみ回答） 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	（31は、事業所のみ回答） 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	5	2		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	5	他の園との交流や地域の子どもとの交流する機会があまりない。	園の子どもとの交流はなかなか難しいが、地域の子ども達とは、神社などで交流する機会があるのでたまに一緒に活動したりしている。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		連絡帳などのやりとり、モニタリングでの写真や動画の提供を行っている。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	3	研修としては取り組めていないと思う。	ペアレントトレーニング受講者がいるので、研修など行う良い機会なので取り入れていけたらと思う。
保	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか 。	7			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7			

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7		夏祭りや保護者参加のイベントなどを考えて行っており楽しみにしているところもある。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7		月に一度職員がお便りを作成して発信できている。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	6	地域住民との交流はなかなか設定できていないのが現状である。	デリケートな場所ではある為なかなか地域住民との関わりはないが、保護者の方と相談しながら進めていけたらと思う。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7			
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7			
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7			
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	7			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7			
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7			